

College of Agriculture, Ibaraki University

茨城大学農学部2019



生産



研究開発



流通



茨城大学農学部

College of Agriculture, Ibaraki University

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

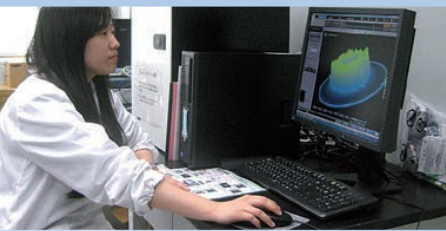
茨城大学周辺のお部屋探し、おまかせ下さい。



スマホでらくらく!

お部屋探しは
コチラから!





茨城大学農学部

College of Agriculture, Ibaraki University

2019

地域から世界の「食と農」に貢献する

生産

研究開発

流通

のプロになる



茨城大学農学部は新しく生まれ変わりました

地域から世界の「食と農」に貢献する生産・研究開発・流通のプロを育てます

みなさん、こんにちは。

茨城大学農学部は「食生命科学科（定員 80 名）：国際食産業科学コース／バイオサイエンスコース」及び「地域総合農学科（定員 80 名）：農業科学コース／地域共生コース」のカリキュラムの下で教育・研究を行っています。みなさんは、講義・演習・実験・実習等を通じて現在の農学に関わる基礎及び専門知識を学び、農学分野の抱えている問題・課題を知り、卒業論文の執筆を通じてそれらのより良い解決法を探求していきます。茨城大学農学部の新カリキュラムは皆さんが学修した知識・経験・成果に基づいて、社会に出てからもそれぞれの分野で学び続けながら活躍できる人材を育成できるように設計されています。

農学が対象とする研究分野は地球規模で広がり続け、新たな課題が生まれ続けています。その潮流の中で、皆さんが新たに発見する課題もあることでしょう。現在、日本を含め世界中で、安全・安心な食の実現、持続可能な農業を担う人材が求められています。豊かな農業の成長は、地域の活性化にも大切です。茨城大学農学部は、自然科学や社会科学を通じて、生産・研究開発・加工・流通などそれぞれの知識や技術を学び、国内はもとより国際的に活躍できる「食と農」のプロフェッショナルを育成します。

また、教育・研究をより高度に推進するために附属施設等を着々と整備しています。具体的に、附属農場は 2018 年度から「国際フィールド農学センター」へと改組されました。また、2019 年度には食品衛生管理の国際規格 HACCP の教育や、企業との共同研究が可能な実験室・研究室・講義室等を備えた新研究棟「フードイノベーションセンター（仮称）」が完成します。さらに、遺伝資源の有効活用を見据えて遺伝子実験施設等の改組も計画されています。これらの施設と従来の教育研究施設が一体となって、阿見キャンパスはますます充実した教育研究環境となっていきます。

農学部教職員一同は、新しい農学部の主役となって活躍してくれる皆さんのご入学をお待ちしています。

農学部長 戸嶋 浩明

Hiroaki Toshima

茨城大学農学部が目指す教育

課題解決能力

地域の自治体や企業、農家の方々と連携した講義や実習を通じて、地域とグローバル社会の抱える課題を理解し、それらを解決に導くために必要な考え方や分析力等を身につける。

実践的 英語能力

初年次からの英語の学習に加え、農学や食品分野に必要な専門用語等に関する英語力と、専門職業人としてグローバルに活躍するために必要な英語力を、専門科目を通じて学ぶ。

地域理解と 国際理解

地域や海外をフィールドにした体験型実習や講義により社会の多様性を理解し、複雑な現代社会の課題を解決するための協調性、コミュニケーション能力等の汎用性能力を身につける。

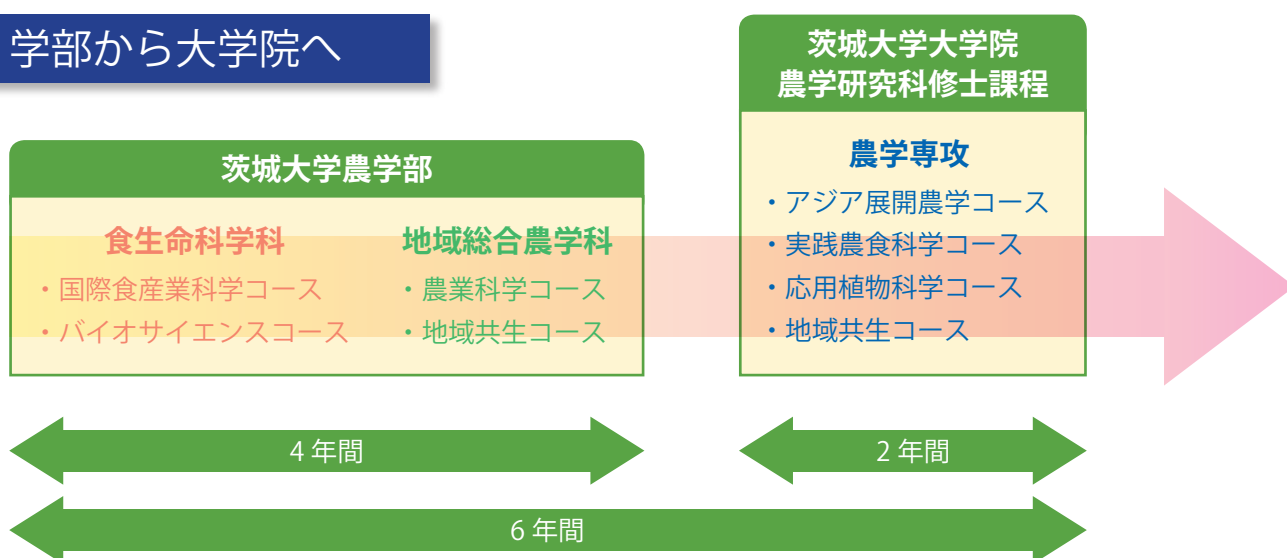
農学部ではこのような学生を求めています

茨城大学農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

- ①（知識・技能）農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
- ②（知的関心）農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
- ③（思考力・判断力・表現力）これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身につける意欲を有していること
- ④（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

学部から大学院へ



大学院農学研究科では4つのコースを設け、学部教育を発展させた**高度な教育と研究**を行っています。

農産品の安全・安心、国際化を担う

食生命科学科

生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識・技能を修得し、生物機能の高度利用や安全な食料・食品の生産、供給を通じて様々な食料問題を解決するための能力や食品分野で国際的に活躍できる思考力を身につけます。

食生命科学科ではこのような学生を求めています

生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。

したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身につけてきてほしいと願います。

学科の特色

- **生物、化学**系科目を重点的に学びます。
例) 生化学、分析化学、有機化学、分子生物学
- 卒業後の進路選択につながる**実験技術を修得**します。
例) 生物学実験、化学実験、機器分析実験



学科における教育方針

- 生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識・技能を修得し、生物機能の高度利用や安全な食料・食品の生産、供給を通じて様々な食料問題を解決するための能力や食品分野で国際的に活躍できる思考力を身につけた農学系専門人材を育成します。
- 生物の機能や生物資源の利用法について理解するために、動物、植物、微生物についての基本的な生命現象、およびそれらの分子レベルから個体レベルまでの相互作用に関する基盤的な講義科目と発展的な専門講義科目、および実験科目を体系的に学修します。
- 食品の加工・流通の分野で国際的に活躍できる人材を育成するため、食品科学に関する知識・技術について、基盤的な講義科目と発展的な専門講義科目、および実験科目を体系的に学修します。

国際食産業科学コース

英語での授業と海外留学を通じて、食品安全の専門家として海外で活躍できる力を身につけます。

コースの特色

- 英語力をより強化します
(卒業時 TOEIC 700点以上を目標)。
- 半年間の海外留学を行います。



コースにおける教育方針

- 食品の加工、流通、安全性について、自然科学だけではなく社会科学も含めた講義科目と実験・実習科目を通して体系的に学修します。
- 国際的に活躍できる人材を養成するため、実践的な英語教育、英語による専門講義科目、海外の大学での講義の履修を行います。
- 卒業論文研究では、生命現象の解明や生物機能の利用を目指した研究を行うことを通して、論理的思考力、独創力やプレゼンテーション能力を総合的に修得します。

卒業後の予想進路

食品の製造・加工などに関わる企業
食品の防疫・流通に関わる企業等
大学院修士課程進学

取得可能な資格

HACCP 管理者（食品の輸出入）〔受験資格〕
食品衛生管理者〔任用資格〕
高校教員（理科、農業）

バイオサイエンスコース

生命科学に関する専門科目と実験の履修によりバイオ産業で活躍できる知識と技術を身につけます。

コースの特色

- 各生物種（動物、植物、微生物）を深く学びます。
- 先端の実験技術を修得します。



コースにおける教育方針

- 生命現象の理解と生物機能の高度利用のために必要な知識と技術の修得を目指し、基礎的な生物学と化学、動物・植物・微生物やそれらの相互作用に関する専門科目と実験科目を体系的に学修します。
- 卒業論文研究では、生命現象の解明や生物機能の利用を目指した研究を行うことを通して、論理的思考力、独創力やプレゼンテーション能力を総合的に修得します。

卒業後の予想進路

食品の製造・品質管理・開発などに関わる企業等
化学・医薬品などの製造・開発・品質管理等に関わる企業
大学院修士課程進学

取得可能な資格

HACCP 管理者（食品の輸出入）〔受験資格〕
食品衛生管理者〔任用資格〕
高校教員（理科、農業）

美味しく健康に良い食品の開発を目指して

白岩雅和
教授



▶設問 1 先生の研究について教えてください

私たちが毎日食べている食品には「栄養機能」「感覚機能」「生体調節機能」という3つの機能があります。これらの機能のうちどれを最重要視するかは、時と場合によって異なりますが、この3つの機能がすべて高い食品があれば理想的です。そこで私達の研究室では、栄養価が高く、将来の人口増加に伴う食糧難に対処できる重要な食料資源といわれる「大豆」と糖尿病緩和作用を有するイヌリンを多量に含むことで有名な「菊芋」に注目し、それらに含まれる美味しさにかかわる成分や私たちの体に好影響を及ぼす成分を見つけ出し、その化学構造や作用メカニズムの解明を行っています。さらにそれらの成分の組成や含量を人為的にコントロールし、美味しく健康に良い食品を開発することによって、食を通じて生活習慣病の予防に貢献することを目指しています。

▶設問 2 先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

私は小・中学校・高校の生活を通して学んだ様々な経験（勉学、スポーツ、生徒会活動など）から大学選択の時期には教員になりたいと思っていました。一方で、小さい頃から健康やスポーツに大変関心があり、これらには「食」が密接に関係していることを実感していたことから、大学で専門的に「食」について学んでみたいとも考えていました。そこで、大学では農学部の食糧化学科に進学し、「食」を学びながら教員を目指しました。その中で高校までの学びとは異なる「未知なるものを解明する研究」の面白さに心を惹かれていきました。教員採用試験を受けようとしていた修士課程2年目の時に教授から「教員は小・中学校・高校だけじゃないよ、大学もあるよ」と言われたのをきっかけに「研究を通した教育が実践できる大学教員」を目指そうと思いました。

▶設問 3 先生にとって茨城大学農学部って？

小さい頃からずっとなりたと思っていた「教育職」と大学及び大学院の研究生生活を通して是非従事してみたいと思った「研究職」という2つの夢を同時に実現させてくれた場所です。研究において新しい発見があった時に学生とともに喜び、研究がうまくいかない時に学生とともに本気で議論しあうことを繰り返しながら1年が過ぎていきます。「研究」と「教育」を同時に成し遂げることは大変なことですが、「学ぼうとする意欲のある学生」と常に一緒に活動できること、そして、学生が卒業していく際に「茨城大学農学部でよかったです」と言ってくれる時、なにものにも代えがたい幸せを感じます。このような研究を通した教育によって、社会におけるそれぞれの持ち場持ち場でリーダー的存在として自信を持って活躍できる学生を輩出していきたいと思っています。

▶設問1 先生の研究について教えてください

現代社会にはいろいろなストレスがありますが、日本でも「こころ」の不調を訴える人が増えてきています。しかし、同じようなストレスにさらされても、平気な人と病気になってしまう人がいます。これはストレスへの耐性が人それぞれであることを意味しています。私たちの研究室では、「こころ」の強さはどこからうまれるのかに関心があり、マウスなどの実験動物を使って研究しています。研究には実験動物の行動観察から、タンパク質などの生体分子の解析まで、あらゆる実験技術を駆使しています。また、日々の生活習慣、特に食習慣で「こころ」の不調を予防できるようにするために、「こころ」を強くする農産物や食品を探しています。「こころ」の病を食習慣で予防できるような未来社会の創造に、少しでもお役に立ちたいと考えています。

▶設問2 先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

小学生ですでに研究者、特に魚類学者になることを決めていたので、ある意味、早熟でした。小学生の頃の私は、魚を釣ったり、飼ったりすることが大好きでした。一日中、水槽の前に張り付いているので親は心配していましたが、中学生の頃はインド音楽などの民族音楽にはまって、短波放送から聞こえてくるシタールやタブラの音にじびれてました。なので、インドやアフリカにあこがれて、文化人類学者になりたいと思ったこともあります（今でも憧れます）。高校生と浪人生の頃に通っていた予備校の生物の先生が分子生物学を専攻された方で、分子生物学の魅力を叩きこまれて、やはり生物学、特に動物の行動と分子生物学の勉強をしたくなりました。もともと小さい頃に魚が好きになったのも、その行動が面白かったからです。

▶設問3 先生にとって茨城大学農学部って？

私にとっては夢のような環境です（笑）。ずっと自分がやりたいテーマを自由に研究してきましたし、今でも自由にやっています。赴任した当時は、研究費獲得や研究環境に苦労したこともありましたが、周りの教職員の方々や学生さんに支えてもらいながら、かなり充実した研究室に成長させることが出来ました。博士号もコンスタントに出せるようになりました。また、ここの特徴としては研究室の垣根が低いことでしょうか。異分野の先生と飲んだときにその場で盛り上がって共同研究がスタートしたりします。筑波研究学園都市の研究者ともたくさん共同研究をさせてもらっていますが、こんな優れた研究環境はめったにないのではないかと思います。学生さんにはこの優れた環境を十二分に活かしていただきたいと思います。



農業の活性化による地域づくりを担う

地域総合農学科

地域の食や農に関する生産から販売までの一貫した知識・技能、地域社会の抱える課題を包括的に把握し、創生・発展に繋がる思考力・行動力を養い、地域産業振興に貢献する力を総合的に身につけます。

農業科学コースではこのような学生を求めています

農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の農業技術の発展に貢献する人材に育成します。

したがって、生物学を中心とした「農学」の幅広い基礎学力・興味を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身につけてきてほしいと願います。

地域共生コースではこのような学生を求めています

美しい農村の景観をまもり、地域・農産物のブランド力を高め、災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し、豊かな地域の未来を創造できる人材に育成します。

したがって、理系科目、文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち、未来に向けた地域づくりと、世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローバル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身につけてきてほしいと願います。

学科の特色

- **農業・環境科学**系科目を**基礎から学び**ます。
例) 栽培学、育種学、農業水利学
- **社会科学**系科目を学び**農業と社会とのつながり**を意識させます。
例) 農業に係る経済学、流通学、計画学
- **地域と連携した講義、実習**を行います。



学科における教育方針

- 食や農に関する生産から販売までの一貫した専門知識・技能と、茨城県を中心とする関東圏北部を題材に地域社会の抱える課題を正確に把握する力を修得し、地域産業振興や地域の発展に貢献できる思考力と行動力を身につけた農学系人材を育成します。
- 農業生産やその基盤となる土壌や水に関する専門知識、農業を取り巻く社会や経済に関する専門知識を講義、実験および実習を通して基礎から応用まで体系的に学修します。
- 教養科目の履修によって豊かな人間性と幅広い教養をもち、多様な文化と価値観を尊重する国際感覚を身につけた社会人として生きる力を養います。
- 卒業論文研究やゼミナールなどではより専門性の高い課題に取り組み、農業生産や農業に関連する環境や社会の問題とそれを解決するための方法について深く考え実践する能力を修得します。

農業科学コース

農作物や園芸作物などの生産技術や品種開発の専門知識に加え、農業経営等についても学修し、地域の農業生産を支える力を身につけます。

コースの特色

- **栽培や植物防疫**について専門的に学びます。
- **実習**を通じて**農業技術**を学びます。



コースにおける教育方針

- 農作物の生産と利用、品種改良、病虫害防除に関する専門的知識を学修します。
- 教養科目や農業を取り巻く社会と経済について学び、社会の一員として農業の発展に貢献できる見識を養います。
- 講義、実験および実習を通して、農業科学に関する知識や技術を基礎から応用まで体系的に学修します。
- 卒業論文研究やゼミナールなどではより専門性の高い課題に取り組み、農業生産に関連する問題とそれを解決するための方法について深く考え実践する能力を身につけます。

卒業後の予想進路

種苗、農業などの製造・開発に関わる企業等
農業生産法人、農業団体
公務員（行政職、農業職）
大学院修士課程進学

取得可能な資格

高校教員（理科、農業）

地域共生コース

農地と水の利用に関する専門科目と実習に加え、地域の問題を社会科学的観点から考察することで豊かな地域づくりを支える力を身につけます。

コースの特色

- **農地と水の利用**などに関する知識、技術を学びます。
- **社会調査**などを通じ、**地域課題の解決手法**を学びます。



コースにおける教育方針

- 土壌や農地、水をはじめとする食料生産基盤に関する科目と、経済学や社会学などの農村社会の理解につながる科目との両軸を基礎に置き、地域環境保全に関して総合的に学びます。
- 農業生産基盤や地域環境に関する専門的な知識を学ぶことにより、生産性が高く環境との調和がとれた農業および地域発展、農業活動に起因した環境問題について、自らが考え解決方法を提案できる力を身につけます。
- 経済学、社会学、政策学など社会科学と、食料や環境などに関する自然科学の科目の学習を通じて、自然共生型社会の創出に向けた、基礎と応用、発展的理論などを学びます。

卒業後の予想進路

農業団体、農業土木やコンサルティングに関する企業等
農産品・食品の流通・販売などに関わる企業
公務員（行政職、農業土木職）
大学院修士課程進学

取得可能な資格

測量士補
高校教員（理科、農業）

進化なくして生態なし！生態なくして防除なし！

北嶋康樹
准教授



▶設問1 先生の研究について教えてくださいませんか？

「ハダニ類の生態と防除」と「食品工場に発生する害虫の防除システムの開発」について研究しています。

ハダニは植物に寄生するダニ（葉ダニ）で、一部のハダニは農業上重要な難防除害虫になっています。研究室では、害虫種のハダニだけでなく、非害虫種の生態も明らかにし、それらを比較することによって害虫種を防除するヒントを探しています。

食品工場で発生する様々な害虫類は、製品への異物混入の主要な原因のひとつです。研究室では、食品工場における害虫の発生源や侵入源を速やかに探知し、清掃や構造改善で害虫を防ぐことのできるシステムの開発に取り組んでいます。

▶設問2 先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

私が「昆虫学者になる！」と決意したのは、小学校5年生の時だったと思います。小さい頃から昆虫が大好きだった私は、小学校高学年から本格的に昆虫採集を始め、昆虫の美しさや多様性に魅了されていきました。その一方で、昆虫採集を通じて絶滅危惧種の存在や自然保護の重要性なども学び「将来は昆虫学者になって、貴重な昆虫を守りたい！」と思ったのがきっかけです。その後、中学・高校と進学し、昆虫学者になるための道を具体的に考える段階になり、将来的に博士号を取得することを念頭に、まずは昆虫の勉強ができる大学（学部）への進学を決めました。大学では遊んでばかりの劣等生でしたが、大学院進学以降は研究に打ち込み、なんとか昆虫で飯を食べるようになりました。

▶設問3 先生にとって大学教員とは？

子供のころから「昆虫学者」を目指していたとはいえ、大学に入学して具体的に進路を考えるにあたり、高校教員（生物の先生）も進路の一つとして頭に浮かんできました。自分自身、人に教えることに向いていると思ったこともその理由のひとつです。結果的に大学教員になって、教育と昆虫学者の両方を叶えることができ、少し信じられない思いもあります。この立場に負けないよう、これからも精進して行きたいと考えています。

▶設問1 先生の研究について教えてください

地球温暖化が食料生産に及ぼす影響を評価したり、その対策を検討したりする研究をしています。ここで重要なことは、地球温暖化が現在から遠い将来にわたって影響を及ぼすので、将来を適切に予測する必要があるということです。このために私は、コンピューターの中で作物の成長を再現する作物成長モデルというものを作成し、将来の気候下で作物の成長がどのようなかを調べるという研究をしています。ですので、農学部には所属していますが、圃場に出る、試験管を握っている、ということはほとんどなく、一日中コンピューターと会話をしているという毎日を送っています。

▶設問2 先生が大学生のころ、研究者になりたいと思ったきっかけを教えてください

中学生のとき友達から「アインシュタインの相対性理論によればタイムマシンが可能である」という話を聞いて衝撃を受け、すごい！僕もそういう理論を作ることができる人（物理学者）になりたいと思ったのがきっかけです。とはいえ（受験）勉強が好きではなかったですし、勉強がものすごくできるわけではなかったので、一時（大学院博士課程2年の時）は研究者になるのを諦め、自分探しの旅にでようとしたり、ハンバーグ職人になろうとしたり、FM ラジオ局のナビゲーターになろうとしていました。その後いろいろあって今の職に就いておりますが、こうなったのはおそらく、対象は物理でも環境問題でもなんでもよく、「研究」という作業が心の底から好きな性分なんだなということかなと思います。

▶設問3

先生にとって茨城大学農学部って？

実は奥さんの実家は農学部がある阿見町にあり、結婚する時に大学に隣接している阿見町役場に婚姻届を提出しに行ったのですが、そのときに役場の駐車場から牛が見えて、「あれ、なんであんなところに牛がいるんだ!!？」と奥さんに聞いたのを覚えています。それが僕と茨城大学農学部のファーストコンタクトです。その当時（2009年）は、別のところに住んでいたもので、茨城大学農学部の存在を知らなかったのですが、まさかその教員になるとは思ってもみませんでした。人生何があるかわかりませんね。



先輩からのメッセージ

①この学科・コースを志望した理由

②これからどのようなことを学んでいきたいか ③高校生に向けて一言



せ た がわとも か
瀬田川朋華 (食生命科学科 2 年)

①茨城大学農学部は広々としたキャンパスで、農学という分野を多岐にわたる視点からのびのびと学ぶことができます。私は、人々の健康を「食」という面からアプローチするための知識や技術を学びたいと思い、食生命科学科に入学しました。

②1年次では、専門的な知識を学ぶための基盤教育科目が中心となります。また他の学部に関する話題について学び、あらゆる視点から物事を考える力を養います。将来は、生物機能を生かした食品開発を進め、国際的に活躍できる人になりたいと考えています。そのために必要な、応用的な知識や科学的技術、国際的視点を学びたいと思っています。2年次から進む国際食産業科学コースで、食品の加工や流通、安全性について自然科学の視点からだけでなく、社会科学的にも学べることを期待しています。また、半年の海外留学を通じて国際的感覚を身につけたいです。

③食べることが好きな方、食や生命について関心がある方、是非茨城大学農学部にいらしてください。同じことに興味を持った人たちと一緒に勉強できる環境はとても刺激的を受けます。食について、幅広い視点から応用的に学びたいという方、是非とも茨城大学農学部で充実した学生生活を送りませんか？

いしかわたかひろ

石川貴大 (食生命科学科 2 年)

①幼いころ恐竜博に行き、そこで多くの古代の生き物の化石やモデルをみて生き物の姿かたちの多様さに驚き、感動したことが生物に興味を持ったきっかけでした。高校での研究の中でグルテンを使った実験を行い、食品に関わる科学分野に興味を持ちました。また、短編ドキュメンタリー番組の制作ではヒカリモとその周りの自然環境の保全団体の方々の活動を見て、地域の助けになるような活動を私も行っていきたいという思いから茨城大学農学部食生命科学科を志望しました。

②世界の人口増加による食糧不足が心配される中で、今後の食糧問題の解決には生きるため、食材を有効活用する技術が必要とされていると考えています。まだ知らないことが多くあるので、専門分野だけでなく幅広く知識を吸収していきたいと思っています。また、交換留学というものがあるので日本にいながらでも海外の学生との交流ができるため、国際的な見方からも自分の視野を広げていきたいです。

③茨城大学農学部のキャンパスは、のどかな雰囲気です。公開されているイベントもあるので機会があれば足を運んでみてください。





たかはし り こ

高橋理子 (地域総合農学科地域共生コース2年)

①私は農学部というと、農作物を作ることや遺伝子組換えを研究するというようなことをイメージしていましたが、他にも様々な農学への向き合い方があるということを知り、その中でも、この地域総合農学科地域共生コースは、地域の問題（耕作放棄地など）について考えその地域をより良くしていくという所に興味を持ったからです。

②1年次の授業で、農業用施設（例えばため池など）には、大地震による津波などが発生した時の被害連鎖を断ち切る役割があるということを学び、農業用施設による減災対策に興味を持ちました。七年前に起きた東北地方太平洋沖地震では、高い堤防を建設するなどの防災対策だけでは被害を防ぐことはできませんでした。そのことを踏まえ、今後は今までのような対策だけでなく、被害を受けても早期復旧が可能な構造を持つ施設を作るなどの減災対策について学んでいきたいです。

③茨城大学はもちろん都会にあるわけではないので交通面では不便なこともありますが、大学内には桜やイチョウなどの大きな木があり春の新緑や秋には紅葉が美しいなど自然的な魅力があるので、癒しを得ながら学ぶことができます。そんな穏やかな大学生活を送りたい方はぜひ茨城大学を見学してみてください。



まつむらりゅうせい

松村隆成 (地域総合農学科農業科学コース2年)

①私がこの学科・コースを志望した理由は、農業に関する学問を幅広く勉強できると感じたからです。高校生の時から公務員試験の受験を考えていた私にとって最適な環境だと思い、このコースを選びました。実際に入ってみると公務員を目指す人が多く、相談できる友人も見つかりました。しかしその一方で、農家やその他の珍しい職業を目指す人もいます。私は大学でたくさんの人の話を聞き、公務員以外の進路にも興味を持つようになりました。

②2年次からは公務員試験に必要な知識だけでなく現場でも活きる技術や能力を身に着けたいと考えています。また、3年次には海外留学をしたいと思っているので、将来の進路が決まるまでは、何事も中途半端にならないように勉強を続けていきたいです。

③農業や動植物に興味がある人は、やりたいことが決まっていなくてもこのコースに来ることをお勧めします。そして、それぞれ違う目標を持った人たちと生活をする中で見つけていけたらいいと思います。



短期派遣プログラム

▶アジアの大学との教育連携が充実し、短期研修の機会もたくさん用意されています。「**国際インターンシップ**」(1単位)では、インドネシアのジェンデル・スディルマン大学の学生とともに**農村滞在型社会貢献プログラム**を行います。現地学生と一体となって問題解決学習を進めることで、**コミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神、協調性**を獲得できます。語学研修や異文化体験に留まらず、**国際舞台で活躍できる専門性**を獲得できます。

AIMS プログラム

▶茨城大学は、ASEAN 地域の国際連携教育プログラムである **AIMS プログラム**に加盟しており、農学部からも参加が可能です。3 年次後期にアジアの AIMS 加盟大学に留学して、専門科目を習得することができます。現地での留学生活を通して、優れた**国際通用性**と**異文化適応能力**を身につけることができます。

派遣可能な大学 (2017 年度):【インドネシア】ボゴール農科大学 (農学・食品科学系)、ガジャ・マダ大学 (農学系)、スリウィジャヤ大学 (農学系)、【タイ】カセサート大学 (農学・理学系)、チェンマイ大学 (理工学・人文社会科学系)、【ブルネイ】ブルネイ・ダルサラーム大学 (理工学・人文社会科学系)



国際食産業科学海外講義

▶食生命科学科国際食産業科学コースでは、3 年次後期に「**国際食産業科学海外講義**」が設定されています。アジアの交流協定校に 1 学期間留学して、複数の専門科目を履修します。安全な食料・食品の生産、供給の国際スタンダードを学び、食品分野で国際的に活躍できる人材を目指しましょう！
AIMS プログラムよりも多くの派遣先が用意されています。

派遣学生の声

平成 29 年度 AIMS 派遣学生 地域環境科学科 小貫 えみりさん

私の専門分野は農業土木ですが、土木工学的な技術だけでなく、農業施設管理の仕組みなど、ソフト面にも興味を持っています。インドネシアのスリウィジャヤ大学に 5 か月間留学して、日本では経験することのできないたくさんの学びを得ることができました。

Practicum Lowland Management という授業では、農村地帯に赴いて農家や村長にインタビューをしたり、様々な農業関連施設を見学したりできました。私が訪れた村では、水利設備を整備した後、時間が経過するにつれて村民による管理組織が弱体化してしまい、管理効率が低下する問題を抱えていました。水利施設などを持続的に使用するためにはストックマネジメントが重要であり、住民による日常管理が第一歩となります。ソフト面の管理というテーマについて、現地でしか得ることのできなかつた“**実体験**”を踏まえて、アジア地域や世界に目を向けながら、自身の専門性をさらに深めていきたいと思っています。



その他の情報はホームページで <http://ddp.agr.ibaraki.ac.jp/>

学生生活

学費（平成 29 年度入学者）

入学料 282,000 円

授業料 535,800 円（年額）

入学料・授業料免除制度

特別な理由によって入学料の納付が著しく困難な学生、または学業成績が優秀で経済的かつ特別な理由のため授業料の納付が著しく困難な学生には、選考の上、全額または半額が免除される制度があります。

奨学金制度

日本学生支援機構による奨学制度が主であり、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金の二種類があります。いずれも人物・学業ともに優れ、健康であって経済的理由により修学困難と認められたものに貸与されます。

第一種奨学金

月額 45,000 または 51,000 円（無利子貸与）

第二種奨学金

月額 30,000 ～ 120,000 円（有利子貸与）

アルバイト

学務係の窓口にて、阿見町・土浦周辺の地域から寄せられた求人票の紹介を行っております。

保健室・なんでも相談室

保健室では健康診断やケガ、病気の応急処置を行っています。なんでも相談室では、学業・進路・日常生活におけるトラブルに関する相談や心身の健康相談を行っており、学生は気軽に利用することができます。

アパート・寮

大学周辺（徒歩 10 分以内）には数多くのアパートがあります。家賃は月額で約 4 万円前後です。

霞光寮

農学部敷地内に男性用（41 部屋）と女性用（41 部屋）があり、全室個室（ユニットバス・トイレ・

ミニキッチン・ベッド・机・スチール棚付き）です。寮費月額 4,700 円！入寮者は選考により決定しています。



国際交流会館

外国人留学生用（20 部屋）と外国人研究者用（5 部屋）の宿泊室と談話室等を完備しています。



卒業後の主な進路

平成 30 年 3 月学部卒業者の進路

◆主な就職先

食 品 系：イセデリカ(株)、(株)ヤマダフーズ、上島珈琲(株)、(株)モンテール、山崎製パン(株)、(株)ヤクルト、筑波乳業(株)、丸大食品(株)、(株)旭物産、キューピー(株)、守山乳業(株)、ホッピービバレッジ(株)

学術・開発・研究：国立環境研究所、(株)エイジェック、日本植物防疫協会、(株)江東微生物研究所、茨城県水質保全協会、(株)森のエネルギー研究所

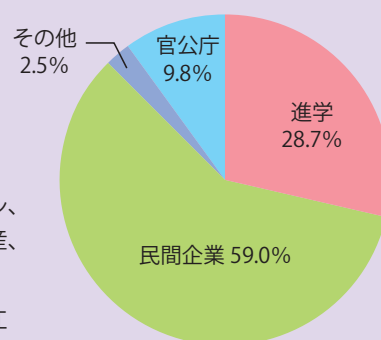
農業・複合サービス：J A 全農茨城、J A 全農宮城、J A 北つくば、日本ホルスタイン登録協会、(株)愛鶏園、(有)瑞穂農場、(株)ハチミツ、(株)トマル、(株)福井和郷、(株)クリーンライス、実家農業（農業、酪農）

公 務 員：厚生労働省、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、岐阜県、福井県、下妻市役所

そ の 他：誠光電設(株)、日舗建設(株)、(株)ニイタカ、日本ジェネリック(株)、(株)ガスパル、(株)アルファ・ウェーブ、(株)T 4 C、ヤマト包装技術研究所(株)、(株)スマイル、(株)ポテトかいつか、(株)丸商商会、ウルノ商事(株)、(株)ヨークベニマル、(株)イオンリテール、(株)水戸京成百貨店、(株)J A S O N、(株)ゼンショーホルディングス、味の浜藤(株)、(株)ピーターパン、(株)カスミ、(株)エムアイカード、茨城県信用農業協同組合連合会、(株)常陽銀行、水戸証券(株)、(財)船員保険会、栃木県商工会連合会、クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン(株)、Chito's Flower Design Studio、(株)日本農業新聞、スカイマーク(株)、いばらきコープ、(株)エシック、(医)NTMららぽーと柏の葉歯科クリニック、キャリアリンクファクトリー(株)、(株)ネモト・サイエンス

◆進学先

茨城大学大学院、千葉大学大学院、東京工業大学大学院



阿見キャンパス内の施設

附属国際フィールド農学センター

茨城大学農学部附属国際フィールド農学センターは、これまでの大学農場の機能に加えて、グローバル化する農業について国際化と地域の両方の視点で社会との連携を深め、これらを通じた学内外のフィールド農学研究の拠点化を目指して 2018 年に設立されました。農学は、農業、食料、生物資源、環境、地域・国際社会などの幅広い分野にまたがる学問ですが、それらの諸問題に対して「フィールド農学」という視点から総合的かつ実践的に対応できる人材育成を目指しています。農学実習を中心にセンター専任教員、協力教員の担当授業科目などがあります。



福利厚生施設（こぶし会館）

1 階には大学生協食堂・購買部、2 階には研修・会議室があります。食堂はカフェテリア形式でメニュー豊富です。書籍・文具・飲食物などを購買部に販売しています。



体育館

バドミントン用コート 4 面分の広さで、体育の授業やスポーツ系サークル等の活動に利用されています。



茨城大学遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は茨城大学における組換え DNA 実験をはじめとした生命科学研究の教育・研究支援と安全管理、そして、バイオテクノロジーの地域社会への啓発と研究成果の社会への還元を目的として、平成 13 年 4 月より学内共同利用を開始しました。研究機器・実験室を整備して、学内外に向け積極的に活動を展開しています。

開かれた大学、実験施設を目指し、無料の各種実験講座も多数開催していますので、皆さんの参加、アクセスをお待ちしております。



図書館農学部分館

農学部分館には農学・自然科学系の図書と雑誌を中心に約 10 万冊の蔵書があります。館内には個人で静かに勉強できるスペースに加え、話し合いながらのグループ学習に適したスペース「ラーニングcommons」を新設しました。

授業のある期間の開館時間は、平日は 21 時 45 分まで、土・日は 19 時までです。図書館ホームページでは、Web 上で利用できる図書や雑誌、蔵書検索などを提供しています。

<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/>

サークル紹介

鍬耕祭実行委員会

鍬耕祭実行委員会は、毎年秋に茨城大学阿見キャンパスで開催される鍬耕祭（しゅうこうさい）という学園祭の企画・運営を行っています。模擬店やステージ企画はもちろんですが、魅力は何といっても野菜販売や芋ほり体験、乗馬体験といった農学部ならではの企画です。昨年度は豪華景品をかけて素晴らしい戦いが繰り広げられたオリジナルなゲーム大会「AMICON（アミコン）」やスタンプラリーなどの特別企画、その他様々なステージ企画で盛り上がり、無事鍬耕祭を成功させることができました。鍬耕祭は決して規模の大きいものではありませんが、地域との交流が深く、アットホームな雰囲気の漂う、茨城大学農学部でなければできない学園祭となっています。

また、鍬耕祭実行委員会では阿見キャンパス内で行われるイベントの企画も行っており、今年度もスポーツ大会を開催する予定です（農学部の皆様、奮ってご参加ください）。大変なこともあります、その分やりがいはいっぱいです。少しでも興味のある方はぜひ鍬耕祭実行委員会に入って、一緒に農学部を盛り上げませんか？



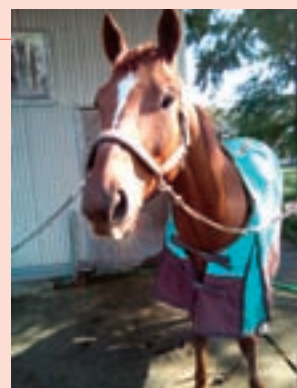
馬術部

私たち馬術部は、現在2頭の馬とともに飼育や競技練習などの活動を行っています。

この部活の最も注目すべき点は自分たちで馬の管理をすることです。毎日のエサやりはもちろんのこと衛生管理から運動管理、飼育における金銭・書類管理など様々なことを自分たちが責任を持って行います。こうした活動は大変なことも多いですが、仲間とともに協力して行うことで、生き物を中心とした連帯感を強め、協調性を養うことができます。

社会では馬に乗ることになんとなく敷居の高さを感じがちですが、現在の馬術部はほとんどが大学2年生から始めた初心者です。乗馬用具も共用のため、ほとんど何も買わずに気軽に始められます。馬の乗り方やお世話の仕方は先輩が親切に教えるので心配ありません。初めて馬で走り回れたときは、まるで空を飛ぶような感動を味わえます！

皆さんも大学で馬と触れ合いませんか？馬術部はいつでも部員を待っています！！



学生農業サークルうら谷津

私たち学生農業サークルうら谷津は、阿見町上長地区にある耕作放棄地の再生を目的として、2004年に発足しました。度重なる活動を通してうら谷津の田んぼは徐々にその機能を取り戻し、今では毎年お米づくりを行えるまでにしました。

私たちの活動は米づくりが中心ですが、そのほとんどは機械を使わず人の手で行います。一見大変だと思われるかもしれませんが、実際にやってみるとだんだんと楽しくなってきます。時間に縛られず、厳格なルールもなく、友達と談笑しながら作業をする…。このような緩い環境で農作業を体験できることは、かなり貴重なのではないかと思います。



毎回の活動の後には、現地の豊かな自然の中で食事を行います。うら谷津で作ったお米や味噌を使ってみんなで適当（笑）に料理をし、食べるご飯や味噌汁は格別です。

興味を持たれた方は、ぜひ一度いらしてみてください。食と農、そして自然の素晴らしさを再認識できると思います。

のらボーイ & のらガール

のらボーイ & のらガール～食農教育プロジェクト～、略してのらのらです！

基本的に土曜の午前中に活動をしています。そのため、他のサークルに加入したり、バイトと両立したりすることもできます！

活動内容としてはまずは農作業です。今は、二つの畑を借りて夏野菜やサツマイモ、他にもいろんな作物を育てています。次に、イベント開催があります。小学生向けに農業体験やそば打ち体験などのイベントを開いています。これだけではありません！私たちは、外部の団体とも協力して活動を行っています。商品開発をしたり、全国の農業サークルと交流を持ち、月一回の交流会を開いたりしています。サークル内の仲間と沖縄や金沢などに旅行に行ったり、運動会や遠足をしたりすることもあり、とても楽しい時間を過ごしています！

- ・楽しく農作業がしたい人！
- ・子供が好きな人！
- ・イベントの運営がしてみたい人！
- ・全国の大学生と仲良くなりたい人！

におすすめで！やれることはたくさんありますので、気軽に連絡、活動に参加してください！待っています！！



農学部登録のサークル ▶ **農業系**：うら谷津／のらボーイ & のらガール 食農教育プロジェクト／楽農人／あみゆめカフェ／食育支援サークル FES ▶ **運動系**：卓球部／ラクロス部阿見支部／バスケットボール同好会／弓道部／馬術部／をこたんびー／バレーサークル／STC（ソフトテニスサークル）／ABC／漕艇部 ▶ **文化系**：鍬耕祭実行委員会／美術部／ものづくりノ会【匠】阿見支部／Let's Hang Out／漫画研究会阿見支部／阿見 ACE／書齋 ▶ **音楽系**：Gitarre!!／中南米音楽研究会／侍 Sound Factory／ジャズ研究会／茨城大学混声合唱団 阿見支部／茨城大学吹奏楽団

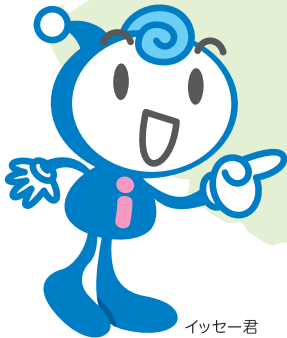
H29 年度現在



一誠商事キャラクター、イツセー君とショーコちゃんが 茨城大学 阿見キャンパスと一誠商事(株) 阿見支店を案内するよ!

茨城大学 キャンパス所在地

日本第2位の
広さを持つ湖、
霞ヶ浦の近くだよ!



日立キャンパス
●工学部

水戸キャンパス
●人文学部 ●教育学部
●理学部

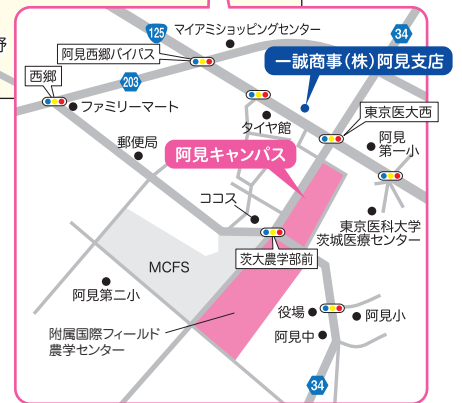
★
阿見キャンパス
●農学部



阿見キャンパス

土浦駅(西口)バスターミナル
1番乗り場から関東鉄道バス
「阿見中央公民館行」に乗車、
「茨大前」下車(バス乗車時間
は約20分)。

常磐線土浦駅まで約6km、つ
くばエクスプレス線つくば駅
まで約13kmと近い。



阿見キャンパス (農学部) 配置図



自然あふれる
ステキな
キャンパス!



- 学務係及び保健管理センター阿見
分室(保健室)は、**事務管理棟**にあ
ります。
- 生協食堂、書籍部、購買部は**福利
厚生施設(こぶし会館)**にあります。

駐輪場(自動二輪車等も併用)

茨城大学 阿見キャンパス

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1
TEL:029-887-1261(代)



一誠商事(株) 阿見支店

〒300-0337 茨城県稲敷郡阿見町中郷2-23-9
TEL:029-840-2510

